



# 広島西ロータリークラブ会報

No. 2054

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

例会日・木曜日 12:30~13:30  
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
会長 井原 俊彦  
幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp  
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity  
「こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ  
「ユーモアでロータリーに  
もっともっと笑顔を」

## 「家族月間」

2011年12月8日 第2030回例会

### ◆ 会長時間 ◆

井原会長



マッチンググラントの承認と東日本大震災への援助について  
皆さんこんにちは。

先週、ロータリー財団からフィリピンのサンタローサ・セントロRCと広島西RCが共同で提出したマッチンググラントの申請が承認されたという田村ガバナーからのメールが届き、中岡委員長が少し報告したのですが補足します。

マッチンググラントとは、皆さん御存知のように2つの国のロータリークラブまたは地区が協力して、国際的な人道的な援助活動をする場合に、ロータリー財団から出る助成の事ですが、今年度2710地区からは、我々のプロジェクトを含めて3つが承認されたそうです。

フィリピンのマニラから車で約1時間の郊外にある人口約27万人のサンタローサ市では、妊産婦死亡率が約5%、乳児が1才になる前に死亡する率が10%、5才迄に亡くなる率が15%位だそうです。この様な母子の高い死亡率を改善する為に、病院にかかれぬ層を援助しているサンタローサ市の保健局に対し、未熟児用保育器や酸素補給器などを購入してもらう為の資金を、ロータリークラブが助成するものです。ちなみに、日本の妊産婦死亡率は、0.004%、即ち出生10万あたり4~5です。またおよその新生児の死亡率を現わす周産期死亡率は、出生1,000あたり3.3

即ち0.33%位で、世界トップレベルです。

我々広島西RCが2,000ドル(約16万円)、サンタローサRCが1,000ドル(約8万円)、2710地区が3,000ドル(約24万円)、3820地区が2,000ドル(約16万円)、合計8,000ドル(約64万円)。これに対してロータリー財団から6,500ドル(約52万円)が拠出され、合計14,500ドル(約116万円)のプロジェクトとなります。

ロータリー財団に寄付するだけでなく我々のプロジェクトにロータリー財団から拠出してもらうのはうれしい事です。もう少し事務処理がありますので、財団委員会、国際奉仕委員会、よろしくお願い致します。

また先週の理事会で地震と津波に加え原発事故で被害を受け、復旧が遅れそうな福島県の南相馬市への援助を決めました。メンバーお一人、お一人から8,000円を拠出して頂きますのでよろしくお願い致します。多くの他クラブでは、すでに色々な援助をすませていますので、我々は遅ればせながらです。

南相馬市が全市民に臨時災害放送を聴いてもらう為の、ポータブルラジオの不足分2,000台を要望されているので、台南RCから預かっている60万円と、広島西RCから60万円を送金し、2530地区(福島)が260万円を加えて、市に寄贈するという事になりました。臨時災害放送局は平成25年4月からは、コミュニティーFM放送として継続予定です。我々の感覚からすると安っぽいラジオをなぜ?と思えます。しかし現地は、こち

らからではなかなか想像しがたい別世界の状況です。てんでこ舞いの市職員の働きを、ほんのちょっとだけ見たのですが、長い道のりを覚悟しているようでした。ロータリーは続いて応援しないといけないと思われま。等と言っているうちに、一昨日連絡があり明日12月9日、南相馬市長も出席しロータリー関係者などが集まって新聞社も来て、授与の式典が行われる事になったそうです。2530地区相双分区ガバナー補佐の酒井義盛さんが我々の代理として参加してくれ、市長からのお礼の証書も受け取って新聞記事と一緒に送って下さる事となっています。

ありがとうございました。

### ● 会務報告 香川(基)幹事

※次回15日例会は年次総会となっておりますので、多数のご出席をお願いします。

### ● 委員会報告

#### 出席報告 鮫島副委員長

本日(12月8日・木曜日)

会員数	82名	出席者	66名
欠席者	16名	ご来客	3名
ご来賓	1名	ゲスト	1名
		計	71名

前々回(11月24日・木曜日)

出席率 100%



### ※ 広島西ロータリークラブ奨学生、張化さんに支援金贈呈



「この度は光栄にも、再度広島西RCから特別に奨学金をいただけることになり、大変ありがとうございます。心から感謝しております。このうちは、来年3月の博士課程を必ず取得するように一生懸命頑張ります。皆様の恩情は一生忘れません。卒業後も頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございます。」どうぞよろしくお願いします。 張化

### ※ 国際交流委員会 中岡委員長

鈴峯学園バングラデシュ・プレスクール  
「ズガミネ」校への文具支援のお願い

鈴峯学園では平成12年にバングラデシュのボックスバザールにプレスクール(小学校に入学する前の子供達の為の学校)を設立以来、インターアクトクラブを中心に募金を募ったり、飲料缶のデポジット等を行う等、全校を挙げて同校の維持、支援を続けておられます。

3月初旬には、こうした募金とあわせ、全校生に呼びかけて集めた文房具を鈴峯学園の生徒が直接バングラデシュに届けに行く予定です。

当クラブとしても昨年に引き続き文房具の収集を支援したいと思いますので、2月23日の例会日までに、例会場に皆様やご家族の使っていない鉛筆やノート等の文房具をご持参頂ければ幸いです。

### ※ 会報雑誌・広報委員会 木本会員

ロータリーの友誌紹介

### ※ 親睦活動委員会 岡田委員長

12月22日の夜間例会並びに家族同伴懇親会に沢山の会員の皆様から福引の景品をご提供いただきありがとうございます。申し訳ございませんが、次週12月15日の例会にご持参下さい。

止むを得ず12月22日、当日ご持参の方はあらかじめご連絡下さい。

### ● 同好会報告

#### ◎ 紫雀会 岡田世話人

紫雀会の11月の月例会が11月17日庚午クラブで開催されました。

成績の方は刀禰さんが優勝、鈴木さんが準優勝、岡野さんが3位でした。

当日はボージョレ・ヌーボー解禁日ということで、おいしいワインにグラスを傾けながらの麻雀でした。私はつつい飲みすぎて夢見心の対局となり、チョンボの少牌をやらかしました。しかも気がつけば2枚も足りないというスーパーチョンボで、最終結果は当然のごとく断トツの最下位となりました。優勝の刀禰さん、準優勝の鈴木さん共に下戸という結果からも、12月の月例会は自制しなければと反省しきりです。

次回12月の月例会は次週第3木曜日の12月15日に高田ビルのシサール麻雀室で開催いたします。3卓を予約していますので、数多くの皆様のご参加をよろしくお願いたします。

### 祝 連続出席100% (3名)

安部君 (31年) 羽井君 (22年)  
古本君 (4年)



ご結婚記念日おめでとうございます。

(5名)

米山君	坂田君	竹本君
小島君	大本君	

● **スマイルボックス** SAA 斉藤委員長

☺ **復興・復活盆栽！** 山木君(自主申告・金一封)  
原爆で一時枯れかけたものの見事復活した「黒松の盆栽」が、日本盆栽大観展で初めて公開されました。持ち主は山木君で、東日本大震災の復興の励みになればと言う思いから出展されました。ちなみに樹齢は300～400年。盆栽共々、山木君の益々のご発展をご祈念申し上げます。(代筆：柴田)

☺ **紫雀会 11月例会報告**  
優勝は、刀禰君(ダブル)。準優勝は、鈴木君。3位は、岡野君。尚、世話役の岡田君はワインの飲みすぎでスーパーチョコボをされたそうです。あわせてご出宝頂きます。

☺ **今日は何の日？**  
紀元前428年12月8日、釈迦が悟りを開いた日。藤田君、篁君のお二人が近々悟りを開かれますよう祈念します。それぞれダブルでご出宝頂きます。

● **スマンボックス**

☺ **携帯電話のベルが鳴る鳴る！**  
四つのテストの唱和の時に梶川君の携帯電話が鳴り響きました。

■ **卓 話**



**有難きかな 笛の縁**

しの笛奏者  
**福原 一間氏**

人生は川を流れる笹舟のように思います。途中何度となく石や岩に当たりながら向きを変え、時には想いもしないことが起きます。人との出会いも同様で、影響を受けた瞬間にその人との別れがあっても、出会う前と後では大きく変わってしまいます。

師との出会いで私の人生は大きく方向転換しました。福原一間の名を許され15年、多くの方々に支えて頂き、これまでの笛吹きとして生きてこれたことに心から感謝致しております。

昨年88歳で他界した師、六代目 福原百之助こと四世 寶山左衛門たからさんざえもんから学んだことは数えきれませんが、先ず「美しくあれ」ということです。言

葉としての教えというよりは、舞台に限らず日頃から隙のない立ち居振る舞いに、いつかは師匠のように成りたいと自然に真似をし型を身に付ける、現在では死後になりつつある正に「見習い」です。どうしてそうするのは後になってなるほど、と気がつく。

二つ目は「笛は丁寧に丁寧に吹きなさい」この言葉に含まれる音色の表現の無限ともいえる奥深さが、今頃になりやっと分かりかけてきました。多くの言葉を使わず「丁寧に吹く」という、ある意味方向を示し、後はじっくり時間をかけ見守る、ということでしょう。「先生、私も今年で50歳です。「いいねえ、若いねえ、これからだねえ。」そう言われた師匠の言葉を今更ながらに思い出します。師との共演でいつも驚かされたのは一つの音から沢山の音が聞こえてくることです。このことを同門の先生に話したら「私もそう感じました。寶先生は常に必死に吹いておられましたから、その必死さが創り出すのでしょうか。」、笛は真剣勝負と言われ、言葉を知っていることと「分かる」とはかなりの隔たりがあります。12月21日で56歳になりますが、この頃、「分かる」ということが分かってきました。歳を重ねることは良いことです。

三つ目は「喧嘩をしない。たとえ自分が悪くなくても先に謝ればいいんです。」これは笛を吹くより難しいです。たとえ師の教えでも未だにできません。

これら師の教えは、日本の気候風土が育んできた文化芸術そのものではないでしょうか。

戦後、欧米の影響を受けたといえ日本特有の緻密で繊細且つ機能的な美しさは連綿と受け継がれています。大切なのはそのことに先ず日本人がもっと自覚し自信を持ち、若い世代に伝えること。私は笛を通して微力ながらも尽力してゆきたいと思えます。

2008年2月、28年振りにインドのヒンズー教の聖地バラナシへ行きました。ヒンズー教では死後ガンジス川に流せば「輪廻転生を解脱し涅槃に行ける」と信じられています。毎日が葬儀のガンジスを眺めながら改めて人の生き死にを考えさせられました。

終わりにヒンズーの教えを紹介させていただきます。

- 心が変われば態度が変わる
- 態度が変われば行動が変わる
- 行動が変われば習慣が変わる
- 習慣が変われば人格が変わる
- 人格が変われば運命が変わる
- 運命が変われば人生が変わる